

富里市廃棄物減量等推進審議会会議録（第2回）

○日 時 平成30年8月1日（水）13時30分～14時40分

○場 所 富里市役所分庁舎2階大会議室

○出席者 [審議会委員]

大道会長、高谷副会長、富迫委員、岩井委員、木曾委員、
畠山委員、酒井委員

[事務局]

山室課長、石井主幹、小別當副主幹、戸村主査、島田主査、
埴主査補、鈴木主事

[中外テクノス]

松岡巨恒、石津知

○欠席者 [審議会委員]

森井委員

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

（1）富里市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて

（2）分別収集日程表の見直しについて

4 そ の 他

5 閉 会

1 開 会

2 会長あいさつ

大道会長 本日は、猛暑の中、またご多忙の中、委員の皆さまにはご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから、本審議会にご理解、ご協力いただきまして、御礼を申し上げます。本日の審議会は、会議次第にありますように、(1)「富里市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて」、(2)「分別収集日程表の見直しについて」になります。委員の皆さまには、本日の会議が活発な意見とともに円滑に運営できますように、ご協力をお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。では、議事に入りたいと思いますが、議長は「富里市廃棄物減量等推進審議会条例」第6条第1項の規定により会長がなることとなっておりますので、大道会長、よろしくをお願いいたします。

3 議 題

(1) 富里市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて

大道会長 それでは、議事(1)の審議に入りたいと思います。「富里市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて」の説明をお願いします。

中外テクノスより資料説明

大道会長 ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見などがありましたら、挙手をお願いいたします。

高谷委員 この家庭ごみ、事業系ごみ、集団回収という分け方について、集団回収というのは、どんなものと考えたらよいですか。

事務局 集団回収は、各自治会、PTA、そして富里市がやっている拠

点回収などを集団回収と呼んでいます。ごみの集積所に出さない紙類とか、古紙とか、新聞とか、そういうものを集団回収としています。

富迫委員 5ページの③の家庭系ごみ量と、7ページの資源化量が、同じように25年度に大きく下がっています。このごみは、区分が変わって、減ったのかなという気がしたのですが。何か、違う施策を打って下がったのでしょうか、たまたま年度が同じなののでしょうか。

中外テクス 7ページの資源化量が25年度に減少した理由としては、民間施設による焼却残渣のスラグ利用量が減少したことが影響しています。この時は成田富里の新しい清掃工場ができ、ごみの処理を移行した時期です。要因はまだ解析できていませんが、もしかしたら、ずっとやってきた減量化が定着してきたために落ち込んだのかもしれないし、運搬、処理は変えていないのですけれども、処理系の搬出先が変わった等の関係で影響があるのかもしれない。現状を見た限りでは、数値的にはこうだということしか今の段階では、申し上げられません。

富迫委員 分かりました。

大道会長 10ページの平成29年の数字は、ごみの総排出量ですか。950という数字になっていますけれども。3ページの1人1日当たりの排出量の推移というのがここに来ているということによろしいですか。それが将来計画の基準になっているのですか。

中外テクス はい。今分かっている数字で1人1日当たりの排出量です。まだ確認中の数字がありますので、次回、あらためてお示しできるかと思います。

大道会長 図について、3ページなど縦軸の数字が0以外の途中の数値になっているということは、差を拡大して、図を分かりやすくするという意味で作成したということによろしいですか。

中外テクス はい。ゼロからにしますと、線が重なりグラフの差が出にく

いので、今回は差を出すために、少し中途半端な数字から表示しています。

大道会長 ありがとうございます。そのほかに、いかがでしょうか。

酒井委員 私たちは可燃ごみの袋を買っているので、可燃ごみをいかにして減らしていくか、ごみ袋を買う費用とか経済的な問題も、今後多少は加味されてくるのかなとは思っています。

大道会長 ありがとうございます。そのほかに、いかがでしょうか。ほかにご質問がないようですので、議事（２）の審議に入りたいと思います。

（２）分別収集日程表の見直しについて

大道会長 「分別収集日程表の見直しについて」のご説明をお願いいたします。

事務局より資料説明

大道会長 日常の廃棄物のことに関しましても、ご提案がありましたら、あるいは、お考えがありましたら、ぜひお聞かせください。いかがでしょうか。

富迫委員 いずれにしても、ホームページ上には、来年度から出してくれるということでもいいですか。

事務局 はい。カレンダー状のものは、来年度の分につきましてはホームページで、その先につきまして皆さまにお配りするのは、広報紙の中に織り込んでという形になりますが、32年度を目安にやっっていこうと思っています。皆さまのご意見をいろいろ拝聴して、変えていこうと思っています。

高谷委員 成田の例で見ると、地区とカレンダーはどのようにリンクしているのですか。

事務局 まず、成田市の地図があつて、図中に番号があります。例えば1番ですが、紙をひっくり返しますと1番のカレンダーが出てくるようになっていきます。A3の大きい地図が載っている方をひっくり返しますと、自分の住んでいる地区のごみの出す日を、丸の部分に書けるようになっていきます。この形を今検討しています。ただ、先ほどご説明したとおり、今、広報に入れようと広報担当と検討しています。紙面の関係で、ひよっとしたら入れられないかもしれませんが、環境課サイドでは、これを試しにやってみたいと考えています。

高谷委員 今、一番分かりにくいのは、地区と曜日のリンクです。成田も同じで、このカレンダーは全部で4地区、4種類のカレンダーがあるので、広報などはちょっと難しいと思います。

事務局 見やすい八街市も、よく見ますと下に地区が分かれて、どうしてもこのようになってしまいます。本来は、できれば、「月・水・金が燃えるごみ」のようにしたいのですが、クリーンセンターのキャパ、置場が足りないということがあり、現在の5地区となっています。北部でもA・Bで分かれていますので、それを見直して、見やすくしたいと思っていますので、ここでご意見を頂ければと思います。

高谷委員 広報では、全地区の全日程を入れなければいけません。どうしても、それ以上は見るほうに探してもらうという感じですね。地区ごとにカレンダーがあるわけですから、それを、自分の地区はどこか、と選ぶのは大変だと思います。

事務局 富里市のカレンダーの色分けしてある地区が、大きく分ける際の候補です。その右に七栄第二等とありますが、これが収集の現在の構成です。今はこの細かな地名も載せなければいけないので、中学校区単位ぐらいであれば、市民の皆さんも出しやすいだろうというものもあり、人数割りなども検討していきたいと思っています。それが最終目標ですが、カレンダーにしたいので、今は試験段階なので、今後も毎年変わるかもしれませんが、見やすさをどうしたらいいかということ

も工夫していきたいと思います。

高谷委員 少し区分けが大きくなれば、カレンダーも、1年分ではなくても3カ月分だけを3カ月おきに広報に載せるほうが、受けるほうは分かりやすいです。1カ月分は、広報では大変ですから、地区ごとの分を分かるようにするとか、そういうところも少し必要だと思います。

事務局 新聞を取っていない方などもかなりいらっしゃるので、公共施設などでも配布はしていますが、なかなか広報だけでお知らせするのは難しいということも考えています。

大道会長 ありがとうございます。事務局として、例えば地区から人を集めて検討会のようなものをつくって、実際に住民の方から提案を聞くというような考えはいかがですか。

事務局 カレンダーを見やすくするというのは、非常にシンプルなようで、収集してストックヤードに置いてというバックヤードに関わる部分が非常に重要になってきます。まず収集できるのか、ストック場所がちゃんと確保できるのか、ストックするためには分別体系は今のままでいいのかといったことがありますので、事務方としては、その辺も含めてコンサルを入れてよく検討してからでないと思えないかと思います。いずれにしましても、大きく変える場合はこの会議だけではなくて、市民の方にも意見を聞いていかないといけないと思っています。

大道会長 原案を作ってから、進めましょう、というお話だったのですけれども、委員の皆さま、いかがでしょうか。

岩井委員 現状の収集ですが、分別や量的に区とか曜日によって差がありますか。

事務局 量が一番少ないのは、南部ではないかと思います。ただ、地区的に広いですから、収集するための移動がかなり多いです。一番多いのは北部ですが、日吉台地区につきましては、真空

輸送システムを利用して集めています。正確な地区別の量まではまだ精査していませんので、申し訳ないですが、今お答えできるのはその程度です。

岩井委員 収集範囲が広いということで、収集の見直しで考える余地はありますか。また、八街市や成田市は、分別が進んでいるようですが、富里市も、将来的に変更を考えているのでしょうか。

事務局 まず地区ごとの収集量を把握し、何回収集したのか等も詳しく数字を出して検討していこうと内部では意見が出ています。分別については、成田市と見比べて違和感を覚えた部分もあると思いますが、成田市は1週間に2回しか可燃ごみを収集していません。富里市もそうした場合、他の収集を行う余力が出る可能性もあります。八街市や成田市で集めている小型家電を富里市では集めておらず、直接搬入に頼っていますが、余力ができれば、小型家電や古紙、段ボール、雑誌、新聞、ウエスとかも含めた資源の収集体制を見直すことができるのでは、ということは課内で話し合っています。ただ、クリーンセンターはストックする場所がほとんどございません。建物を壊してそこに施設を造るしかない、ということになってしましますが、財源とかいろいろな問題があり、内部的には色々と検討している状態です。この場で、いろいろなご意見があれば、拝聴したいと思っています。

大道会長 これから検討されることがたくさんあるということで、委員の皆さまに今後ともいろいろお考えを頂いて、積極的にご提案いただければと思います。

酒井委員 ごみ袋の件ですが、可燃物も不燃物も、よそは大型と小型の袋があります。実際、高齢化が進んで、量は少ないですが袋が大きいと、お年寄りが運ぶのが難しくなっています。そういう悩みが今すごく多いという話を聞くので、袋を小型化して、月・火・木・土のうちに出せるような形を取るとか、そういう方法も少し考えていただければと思っています。

事務局 出しやすさの点で言いますと、現在、ごみ袋に輪っかの持ち

手があり持ちやすいものと自分で口を縛るものが存在しており、輪っかになって持ちやすいものに統一しようということで業者を集めて会議をしました。最終的に「市の基準を決めてくれば従うということになりましたので、半年、1年を目安に統一を考えています。また、小型のごみ袋も、実際はあります。富里市はごみ袋の規格だけを決め、製作は全部業者さんにお任せして、仕入れも商店にお任せするという形で、商業ベースになりますので、売れるものを作り、仕入れるということがあります。一人暮らしの多い都会へ行くと、小さいごみ袋などを売っているのですが、富里市はまだまだ大きいごみ袋のニーズが多いようです。ですから、行政からも市民のニーズもお聞きしていますので、売るほうにも周知を図っていければと思っています。

畠山委員　ごみの収集方法について、八街市は5地区、成田市は10地区に分かれ、カレンダー方式で、分かりやすい収集方法を取られているようです。その地区の人は分かりやすいと思いますが、富里市の1枚のポスター方式が抱えている問題で、分別ができていないとか、イレギュラーな品目が出ているといったことがあります。今のポスター方式も親切に内容が表示されているのではないかと感心している部分もあります。カレンダー方式は、一見、分かりやすいようではけれども、慣れている人は、新しい方法にされてしまいますと混乱が起きて、よく分からないということが生じる可能性があると思います。現在起きている問題と、それから改定したいという根拠を聞かせてください。

事務局　改定したい理由ですが、毎年4月に配布する分別収集日程表には地区が書いてありますが、入っていない地区もあり、細かくなり過ぎて分かりづらいというのが大きな理由です。4月は成田空港の関係で非常に転出入が多いですが、他市町村、千葉県内も調べてみるとカレンダー形式が多く、こちらの方が見やすくなっているというのが2つ目の要因です。また、この絵のとおりにはしか出せないと思ってしまう人もいます。表を変えることによって32年度以降に、缶を不燃から資源に区分を変更する等の見直しもここで一挙に掛けたいと考えています。分別の仕方も、いろいろ意見が出ていますけれども、

一挙に変えていったほうが早いのではないかなという一つの案がございます。一番大きいのは、古紙回収を集積場所で回収していければというのが要因です。

畠山委員　ごみの出し方の中で網羅されていない地区があるということですが、問題がある出し方をされている事例はありますか。

事務局　問題がある方は、日程表を持っていません。最近、多いのが外国の方でして、市では英語、中国語、スペイン語の収集日程表を1,500部ほど作っていますが、今年はもう既になくなりそうです。他は、確かに出し方が悪いところも多々見受けられますが、あまりにも悪質というのではないようです。

畠山委員　うちの近くにも予定の日にはち以外のものを出す外国の人がいて、日にち教えてあげたりこの表を差し上げたりしています。方式が変わったとしても、外国人の方も分別しない人はやってくれないのではないかと思います。ただ、カレンダー方式のほうが見やすいです。絵にするとそれに捉われてそれ以外のものはどうかという疑問を持たれる可能性があります。例外事項はどれでも生じることは否めないと思います。それぞれ個人的な意見をお持ちだと思いますので、それをいい方向にまとめていただければと思います。

大道会長　ありがとうございました。ほかにご意見はございますか。事務局も、頑張って32年度までに取り組むということですが、委員の皆さま方もご意見がありましたら、直接あるいは当会でぜひご提案をお願いしたいと思います。ほかに、ご意見はないようですので、本日はこれで議事を終了させていただきます。委員の皆さまには、議事進行にご協力いただきまして、活発なご意見、またご提案を頂きまして、誠にありがとうございました。議事進行を事務局にお返しいたします。

4 その他

事務局　ありがとうございました。それでは、次第4に進めさせてい

ただきたいと思います。次第4その他ということで、資料の
条例新旧対照表をご説明します。

事務局より資料説明

大道会長 ありがとうございました。委員の皆さん、今のご説明はお分
かりでしょうか。部分的に安くなってしまう現象が起こるので、
それを訂正したいというご提案でした。市の収集運搬した生活
系粗大ごみを1回につき300キロまで3,240円と、1回300キ
ロを超えた場合には、10キロまで108円とする等、手数料を
改正する議案です。

事務局 ありがとうございました。それでは、本日の審議内容を全て
終了させていただきます。次回、第3回の審議会は11月中旬
から12月を予定しています。改めて、委員の方々には手紙を
出したいと思いますので、ご協力のほどをよろしくお願いいたします
します。

5 閉 会